

7月6日（火）遺跡見学にいきました

本日、5・6年生が遺跡見学にいきました。すごくタイムリーな話で、池田地区に遺跡が発見されたということで大田市石見銀山課の方をお願いして、出土の状況を聞きに行きました。



“池田北遺跡”という名前に

決まったそうです。

学校から歩いて5分ぐらいの場所にありました。

石見銀山課の方、2名の方に手伝っていただいて、説明を受けました。

まだ、試掘の状態ですが、かなり土器があります。行ってみて驚きました。中でも、試掘の中にうずもれている土器にはびっくりでした。かなり大きな土器の破片でした。

資料を用いて説明をしていただきました。中でも、奈良県（大和）の土器が出土していることが大きな特徴だそうで、大和と交流があったことがうかがえることが今のところの成果だそうです。

子どもたちにとってありがたかった



ことは**“発掘体験”**させてもらったことです。これから発掘する場所の“表層”あ



たりを発掘させてもらいました。けっこうたくさん見つかりました。私も埋蔵文化財調査センターにいた頃に発掘体験を子どもたちにさせたことがありますが、これだけ、土器がたくさん見つかることはなかなかない経験です。「これ石？これ土器？」と見分けながらさぐるのがよい経験になりました。

めったにない経験に子どもたちは一生懸命土器を



さがしていました。

そして、飛び入り参加の武田教育長も子どもたちの様子を見に来られました。武田教育長も、土器探しをされました。なんと「研石(とぎいし)」を発見されてびっくりしました。石見銀山課の方が子どもたちを集めてこの「研石」の説明をされました。



教育長も発掘体験に参加



石見銀山課の方のお話しの最後に、発掘したものは最後には警察に届けをだすことや、遺物はもって帰ってはいけないことを話されました。

子どもたちは発掘体験をして大満足でした。私も楽しく発掘体験ができました。(文責：校長)